

# 患者の医用画像の保護

Superna Eyeglass® Ransomware Defender によりサイバー犯罪者から医用画像を保護する

## 患者データを保護



- Dell EMC PowerScale は、医用画像の保管およびアーカイブにおいて、医療業界で信頼されているプラットフォームです
- PowerScale には、患者データを保護するデータセキュリティ機能が内蔵されています
- Superna 社は、デル・テクノロジーズの信頼できるパートナーとして、ランサムウェア攻撃からのデータ保護を支援します
- Superna Eyeglass® Ransomware Defender は、PowerScale に組み込まれているスナップショット、API、レプリケーションテクノロジーを活用してデータを保護します
- Superna Eyeglass® Ransomware Defender はサイバー攻撃の前後および最中に、インシデント全体を通じてサポートを提供します
- Superna Eyeglass® Ransomware Defender は保存データを保護し、統合されたエアギャップ自動化機能により投資保護を実現します
- Dell EMC PowerScale 上の Faction サービスにより、ディザスター リカバリー サイトやエアギャップ クラスタをオフプレミスまたはクラウド内に配置することができます

## 攻撃にさらされる患者情報

医療業界では、データが爆発的に増加しています。IDC によると、医療データは間もなく 4ZB レベルに達し、2025 年には 10ZB を上回る見込みです。医療機関で管理されているデータ量は業界平均よりは少ないものの、25%以上長い期間保持しなければなりません<sup>1</sup>。これは、画像やスキャンを含むすべての患者情報を PACS や VNA 内に保存し、サイバー犯罪者から守る必要があることを意味します。

近年、犯罪者が医療機関を標的にする独自の方法を見出したため、医療業界は攻撃にさらされています。フィッシングやインターネット詐欺、ランサムウェア攻撃が用いられ、組織全体やそのデータが危険にさらされています。こういったタイプの攻撃は 2020 年以降増加傾向にあり、攻撃の 28%がランサムウェアとして報告されています<sup>2</sup>。一方で、最近の IDC の調査では、データの増加とそれに伴うセキュリティ要件に対応する準備が整っていると感じている医療機関は 60%しかないと示されています<sup>1</sup>。ホールスライド画像やベッドサイド超音波検査など、PACS で管理する画像が増加するなか、こうしたデータの保護がかつてないほど重要になっています。

サイバー攻撃は、ダウンタイム、信用の低下、治療の質の低下につながるのです。

## PowerScale に医用画像を格納

PACS 環境や VNA 環境では、管理が容易なプラットフォーム内でパフォーマンス、拡張性、保護を実現する非構造化データストレージが求められます。PowerScale は、複数のクラスターにわたって単一のファイルシステムとして機能するスケールアウト ネットワーク接続型ストレージ (NAS) です。これにより、ファイルシステム全体でデータへのアクセスが可能になります。PowerScale を支えるのが、医療機関の成功に不可欠な数多くの特長や機能を備えた Dell EMC PowerScale OneFS オペレーティング システムです。医用画像向け PowerScale の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

OneFS を実行する PowerScale では、ネイティブのセキュリティ機能がプラットフォームに直接組み込まれています。PowerScale は、自己暗号化ドライブによる静止データ暗号化 (D@RE)、SnapshotIQ によるスナップショット、SyncIQ によるデータレプリケーションをサポートします。データ保護に関しては、これらの機能だけで医療機関に安心がもたらされますが、ランサムウェアに対しては、さらなる保護が必要です。

